

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

神奈川県 川崎市

自治体名：川崎市

担当課名：川崎市教育委員会事務局学校教育部健康教育課

電話番号：044-200-3313

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	143.35 km ²
人口	1,550,182 人
公立中学校数	52 校
公立中学校生徒数	29,922 人
部活動数	749 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	「川崎市立中学校の部活動に係る懇談会」を設置 (令和5年11月)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	検討中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市においては、52校の公立中学校があり、生徒数は、29,922人で749部活が活動している。その中で、運動部活動は、520部活あり、18,030人の生徒が所属している。今後数年間の生徒数については、推計では、ほぼ横ばいの傾向であり、少子化による部活動への影響は少ないと思われる。

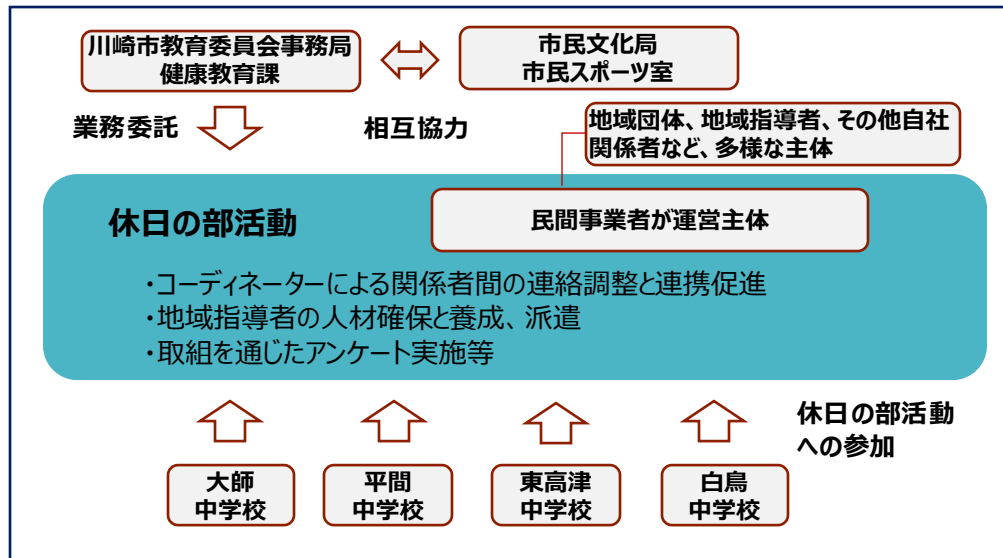
しかし、生徒の部活動に対するニーズの二極化（楽しみたい派とうまくなりたい派）に加えて、教員の部活動に係る業務に対する負担感が増していることから、本市の部活動運営には、生徒の声に寄り添った対応と教職員の働き方・仕事の進め方改革の推進の両立が求められている。これらの課題解決策の一つとして、地域等にいる外部人材を活用しながら運動活動の環境を整備し、将来的な地域移行につなげていく必要がある。

以上の課題解決に取り組むため、現在、当事者である中学生に、現在や将来の部活動について考え、どんな部活動をしていきたいかなどを学校内で話し合いを行ってもらっている。話し合われた意見については、本市における今後の部活動の在り方の検討や、部活動指針を作成する際の資料とする予定である。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会事務局健康教育課

全体の調整業務等

◎市民文化局（市民スポーツ室）

地域スポーツ振興に寄与した本事業の取組に関する協力・連携

年間の事業スケジュール

令和6年5月	契約手続開始
令和6年6月	業者募集
令和6年7月	契約締結
令和6年8月	派遣前打ち合わせ・指導者調整
令和6年9月	拠点校における実践研究開始 第3回協議会の開催 （中間・進捗状況の報告等）
令和7年2月	拠点校におけるアンケートの実施
令和7年3月	事業完了報告書・成果報告書の作成・提供 第4回協議会の開催 （成果報告・来年度に向けた検討）
随時	関係団体等ヒアリング （部活動改革・指導者養成ほか）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	20 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		20 クラブ（20 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	30 人	全体の運営スタッフ数	17 人

②主な各クラブに関すること(一部記載)

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
平間中学校 野球クラブ	株式会社 アーシャルデザイン	野球(新)	約 3 回/月	特定なし	会費 0 円	R6.9.15 ～ R7.1.31	平間中学校 運動場	2 人	10 人 (内、兼務10人)	会費 0 円	中体連 ⇒部活動
大師中学校 バスケット ボールクラブ	株式会社 アーシャルデザイン	バスケット ボール (新)	約 3 回/月	特定なし	会費 0 円	R6.10.6 ～ R7.1.31	大師中学校 体育館	1 人	10 人 (内、兼務10人)	会費 0 円	中体連 ⇒部活動
平間中学校 バレーボール クラブ	株式会社 アーシャルデザイン	バレーボ- ール(新)	約 3 回/月	特定なし	会費 0 円	R6.10.5 ～ R7.1.31	平間中学校 体育館	1人	10 人 (内、兼務10人)	会費 0 円	中体連 ⇒部活動
大師中学校 バレーボール クラブ	株式会社 アーシャルデザイン	バレーボ- ール(新)	約 3 回/月	特定なし	会費 0 円	R6.10.5 ～ R7.1.31	大師中学校 体育館	1 人	10 人 (内、兼務10人)	会費 0 円	中体連 ⇒部活動
大師中学校 陸上クラブ	株式会社 アーシャルデザイン	バスケット ボール (新)	約 3 回/月	特定なし	会費 0 円	R6.10.27 ～ R7.1.31	大師中学校 グラウンド	1 人	10 人 (内、兼務10人)	会費 0 円	中体連 ⇒部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ・平間中学校の野球部にて、生徒が自分たちで考えて練習に取り組むことを目的にICTを活用した。
- ・かわさきスポーツパートナーのコーチや元プロスポーツ選手による講座をスポット的に実施するなど、民間事業者のノウハウや資源を活用した技術指導を行った。

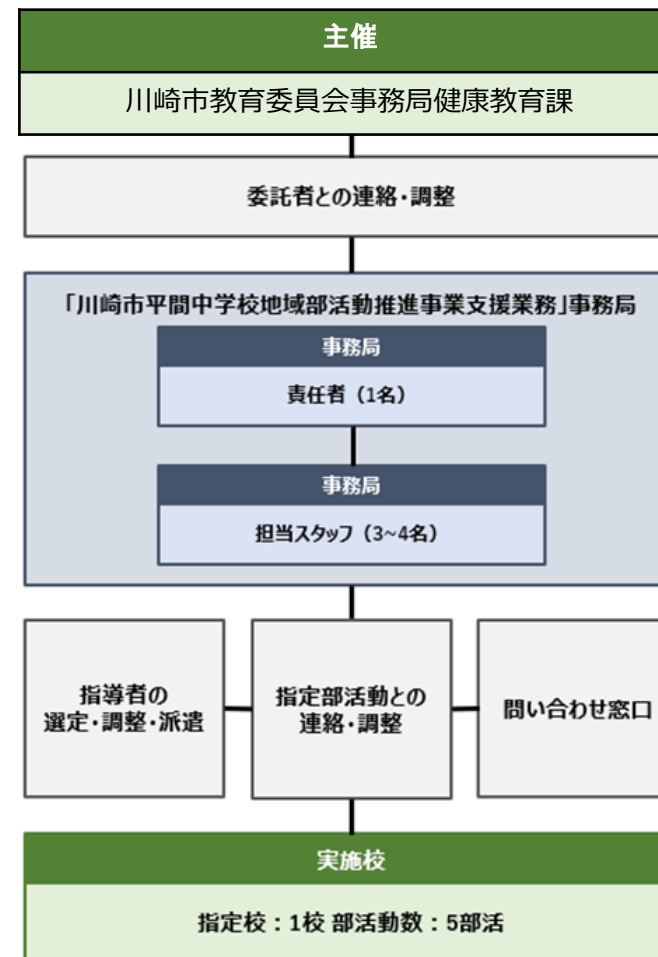
2.実証内容と成果

主な取組例

● 平間中学校クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、野球、剣道、バレー、ハンドボール
運営団体名	株式会社 アーシャルデザイン
期間と日数	約3日/月
指導者の主な属性	社員及び有期雇用契約者
活動場所	平間中学校
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

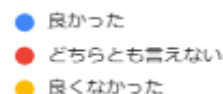
- ・運営団体、実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営を行うための運営体制、関係者（教育委員会・学校関係者）との連絡調整はコーディネーターが主体となり実施
- ・本校の地域移行等について協議、検討する場として、教育委員会事務局、委託業者との定例協議会を設置し、今年度は3回開催した。

取組の成果

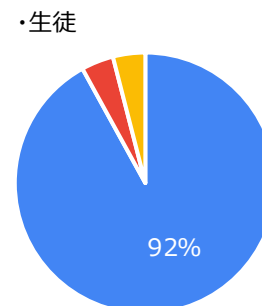
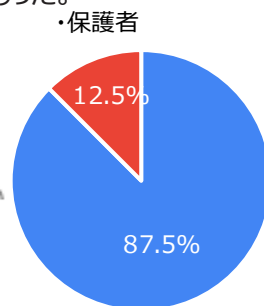
- ・参加した中学生を対象としたアンケートで、部活動の指導を顧問の教員ではない「休日の外部指導員」が指導することについてどう思ったかを調査した結果、生徒では「良かった」と回答した割合が92%、保護者では87.5%という結果になり、生徒からは、「レベルの高い指導が受けられる。」「基礎をしっかりと教えてもらえる。」などの声が上がり、保護者からは、今後も外部指導員の活用を希望すると回答された割合は84%であった。

①【生徒・保護者】

部活動の指導を顧問の教員ではない「休日の外部指導員」が指導することについてどう思いましたか？



※平間中学校のアンケート
結果（5部活生徒総数40/76人、
保護者総数25/76人回答）より



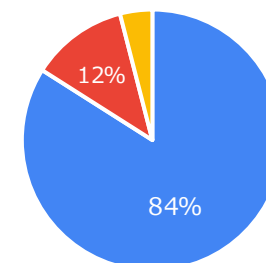
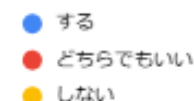
②【生徒】

今の「休日の外部指導員」が指導するようになってよかったと感じる点

- ・レベルの高い指導が受けられる
- ・基礎をしっかりと教えてもらえる
- ・悩みごとを相談しやすい
- ・競技がより楽しくなった
- ・指導してもらった時間が増えた

③【保護者】

「今後も外部指導員を希望しますか？」



コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・各校に配置したコーディネーターが適宜、学校の求める部活動支援の内容と指導者の役割について管理職や顧問に細かく聞き取りを行い、指導者の活動内容に反映させるとともに、顧問と指導者間で活動計画や活動報告の共有を図るための橋渡しを行い、休日の地域部活動運営全般に係る調整役としての役割を果たした。

今後の課題と対応方針

- ・地域クラブ等運営団体が休日の部活動の地域移行を進める上で、学校事情や個々の部活動の活動状況、顧問の考え方や活動方針等に応じて柔軟に部活動運営を行うためには、コーディネーターを中心に迅速に調整、対応できる体制を構築していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

多様な主体による対話形式の意見交換として、過去に実施したアンケートを基に、様々な年代の子どもたちが意見交換をすることによって、大人だけで決めない、川崎市の部活動の姿を考える「かわさき子どもたちの部活動ワークショップ」を8月に実施した。参加者からは「大会の引率は先生がいてくれた方がよい」「経験者と未経験者の差はあるだろうが、顧問も部員も一緒に進んでいける部活がよい」「本気とそうでない部活があるので分かれていると入りやすい」「小中学校が交流機会を増やすと良い」等の意見が出され。活発な議論が展開された。

活動の詳細

参加人数	23人	主な参加者	市内小学校・中学校・高校生及び田園調布大学の学生
日時	令和6年8月24日 10時～12時		
場所	田園調布学園大学		
討論テーマ	「私たちの部活動をみんなで考える！」		
参加者の様子と主な意見	・大会の引率は先生がいてくれた方がよい ・経験者と未経験者の差はあるだろうが、顧問も部員も一緒に進んでいける部活がよい ・本気とそうでない部活があるので分かれていると入りやすい ・小中学校が交流機会を増やすと良い 等		



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行なっていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、公的資金のバランスについて検証を行なった。

収支バランス

地域クラブの運営にあたり、収支バランスの計算を行った。詳細は以下のとおりである。（平間中を例示）

収入

費目	種 別	決算額
収入	指定都市委託料	1,908,858
	団体等自己負担	0
	受益者負担	0
	その他収入	0
総 収 入		1,908,858

支出

費目	種 別	予算額	決算額
事業費	人件費・賃金	596,826	691,845
	諸謝金	1,005,000	697,100
	旅費・交通費	215,000	51,309
	借料及び損料	0	0
	消耗品費	18,970	0
	会議費	0	736
	印刷製本費	1,500	182
	通信運搬費	63,000	9,000
	雑役務費	50,000	0
	保険料	175,900	132,062
	消費税相当額	212,620	153,092
	小 計	2,338,816	1,735,326
	一般管理費率	10.00%	10.00%
一般管理費		233,881	173,532
総 支 出		2,572,697	1,908,858

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

地域クラブに係る経費

地域クラブの運営にあたり、1 中学校 5 種目において地域クラブ活動を通年で実施した場合の、実施に係る経費の検討を行った。詳細は以下のとおりである。

■イニシャルコストの分析

- ・広報費（50 千円）
- ・事務用品（50 千円）

■ランニングコストの分析

- ・会場借料（110 千円）
- ・指導者謝金（1,300 千円）
- ・事務局人件費（1,000 千円）
- ・消耗品費（200 千円）
- ・生徒保険料（80 千円）

合計 2,790 千円

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

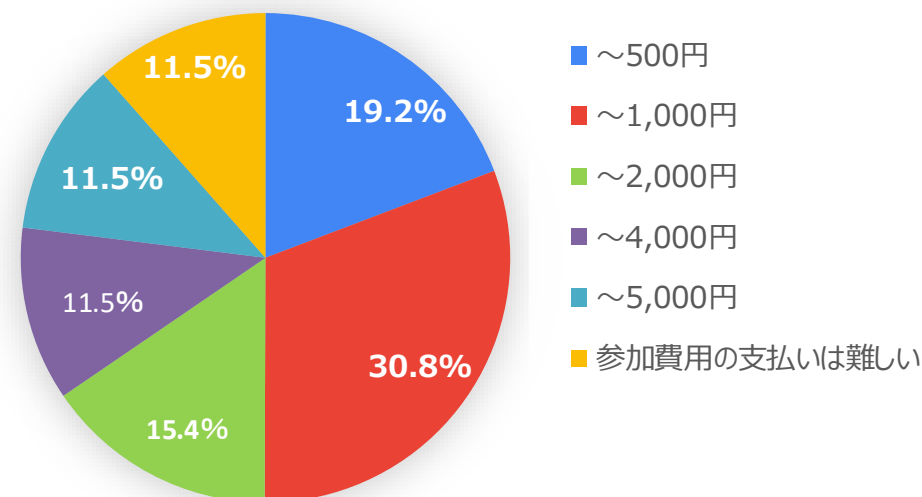
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組事項

・保護者アンケートの実施による持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

取組の成果

- ・保護者アンケートを実施し、持続的な運営に必要な受益者負担額の試算を行った
- ・「今後、部活動を地域クラブとして外部に委託することで、参加費用が発生する場合、毎月の費用負担額はどの程度が適当ですか？」という質問に対し、「月1,000円未満」またはそれ以下と回答した人が合わせて61.5%であった。
- ・今回の実践研究対象部活（76人）を通年で実施する場合、前頁の経費から、受益者負担額は月3,000円程度が必要となる見込みであり、保護者のアンケート結果と差異があった。



※平間中学校のアンケート
結果（5部活保護者総数25/76人回答）より

今後の課題と対応方針

- ・今後、受益者負担を求める際、生徒と保護者が対価として満足できる技術指導、内容、指導環境等が求められるため、安易に質を求めるだけではなく、保護者が負担可能な金額と質のバランスを取ることが必要である。また、保護者の理解を得ながら、段階を踏んでステップアップしていく必要がある。
- ・今後、保護者負担経費の調査（学校部活動の活動経費との比較）や困窮世帯への支援の在り方の研究を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- ・学校施設利用時の設備・備品等の利用ルールの検討
- ・学校施設の鍵の開閉についての検討

取組の成果

- ・地域クラブが学校を使用する際、使用前後に備品等の点検を徹底することで、安全な地域部活動運営を実施することができた。
- ・地域クラブが学校から鍵等を借りる際は、学校の指示に従った適切な管理を行うことで、施設利用を円滑に進めることができた。

特に工夫した事項

- ・使用施設の鍵については、各学校ごとの事情に応じて、地域クラブ指導者が休日に職員室に在室中の職員から学校の施設開放の際に使用する鍵を借りる等、柔軟に対応することができた。

今後の課題と対応方針

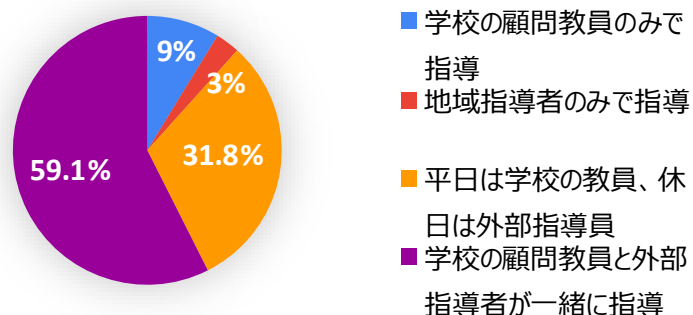
- ・学校施設の設備・備品の利用について、学校部活動の支援として地域クラブが指導者を派遣する分には運用面で問題ないが、今後、地域クラブが顧問教員なしで独立して利用する際は、必要に応じて地域クラブ側で一部の備品等を自前で用意することが想定され、継続的な費用捻出の課題がある。
- ・学校施設の鍵の開閉については、学校の施設開放による方法を援用することで柔軟に対応できたが、将来的に学校部活動から地域クラブ活動に切り替わる際には、施設利用に関しての団体登録や利用日程調整をどうするのか、鍵の保管場所と管理方法をどうするのか、といった課題が残る。

2.実証内容と成果②

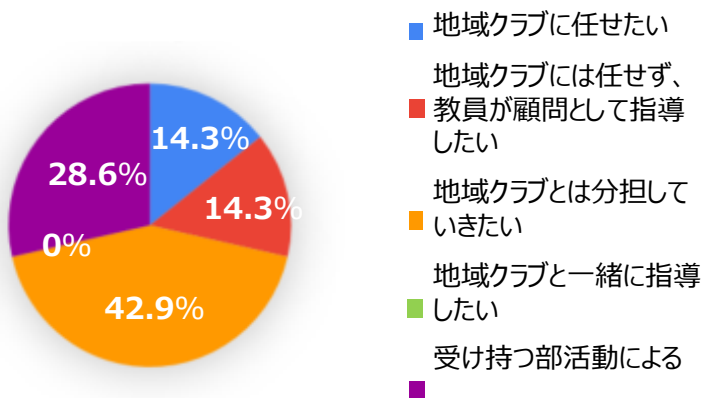
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.【生徒向け】部活動の指導体制についてどの形が望ましいと思いますか？



Q.【顧問向け】休日の部活動を地域クラブが指導する・部活動の地域移行が進んだ場合、次のうちあてはまるものを選択してください。



※平間中学校のアンケート結果（5部活生徒総数40/76人、顧問総数4/6人回答）より

●参加者の声

Q.【生徒向け】指導員が平日と休日で変わることについて何か困るところや良いところがありますか。

- ・指導員が変わる事で自分の良い所悪い所がわかりやすくなった。
- ・アドバイスしてくれる人が増えたから改善点が見つかりやすい。
- ・色々な練習のメニューができる。
- ・様々な視点からのアドバイスが貰えて良い。
- ・練習メニューが変わり、違う技術が得られるところ。
- ・休日の指導者にもアドバイスをもらえたことが良かった。

Q.【顧問向け】部活動の地域移行について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・受け皿がなく難しいと思う。また、生徒や保護者の信頼関係を築いていく上で難しいと感じる。
- ・部活動は教育の一貫でもあり、様々な効果が得られる生徒の成長の場であるため、地域移行が本当に良いのかどうか疑問もある。
- ・地域移行するなら完全にしていきたい。
- ・生徒の活動レベルを上げるためにも、全休日対応していただける指導員がいれば、地域移行は良いと思う。
- ・地域移行までの道のりはかなり長いと思います。やはり教員が間に入らないと運営上難しい場面が多々あった。

2.実証内容と成果③

参考資料（活動写真）



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

学校部活動のあり方に向けて

- 部活動の更なる適正化の検討
- 国、県の動向や他都市の先進事例**収集
- 各種調査実施

部活動指導の支援

- 部活動指導員の更なる活用**
- 大学や地域団体と連携した**指導者人材養成等の環境整備**を検討

休日の部活動の地域移行の検討

- 拠点校実践研究による検証**
…拠点校生徒、教員、保護者へのアンケート実施によるニーズ調査
- 関係団体等との協力可能性の検討

関係者の声をカタチにするために

○多様な主体による対話形式の意見交換を実施

- ・中学生、教員、保護者のほか、小学生、高校生、大学生、地域のスポーツ・文化 芸術団体などの多様な主体の参加
- ・既存の会議等を活用して、実施予定

○川崎市立中学校の部活動に係る懇談会における意見聴取

先生じゃなくてもできる部活動にするには？

保護者が協力できることってなんだろう？

地域の力で実施可能な部活動は？

こどもが気軽に楽しくできる部活動は？



川崎市立中学校のこれからの部活動指針（案）の作成予定